

とちぎ性暴力被害者サポートセンター 設立1周年

性暴力について考える シンポジウム

～今、そしてこれから必要とされる支援とは～

日
時

平成28年7月9日(土)

開場 13:00 13:30～16:30 (予定)

会
場

パーティ とちぎ男女共同参画センターホール
宇都宮市野沢町 4-1

第1部

基調
講演

未来への道を築く

～性暴力の影響と必要なサポート～

【プロフィール】

看護師・保健師。性暴力被害に遭った経験から勉強を始め、2007年 SANE（性暴力被害者支援看護師）研修修了、2010年看護学修士取得。2008年より講演活動開始。被害経験と専門的知識を融合させたワークと講演は、納得ができ理解が深まると定評がある。性暴力被害支援者研修、一般市民対象の講演活動多数。

NPO 法人女性の安全と健康のための支援教育センター運営委員、日本フォレンジック看護学会理事、自助グループ野いちごの会運営者。



山本 潤氏

第2部

パネルディスカッション

性暴力被害者支援に必要なこと

〈パネリスト〉 近藤 恵子氏 全国女性シェルターネット 理事
井上摩耶子氏 ウィメンズカウンセリング京都 代表
横山 幸子氏 弁護士
山本 潤氏 看護師・保健師・サバイバーサポーター

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

参加者
募集

300名 無料

申込
締切

6月24日(金)

お申し込みは裏面をご覧ください。

主催／栃木県・共 催／栃木県済生会宇都宮病院
後援／(公財)とちぎ男女共同参画財団、栃木県産婦人科医会、栃木県臨床心理士会、栃木県弁護士会
連携団体／(公社)被害者支援センターとちぎ、認定NPO法人ウィメンズハウスとちぎ、
認定NPO法人サバイバルネット・ライフ、栃木県女性団体連絡協議会

(別 紙)

「性暴力について考えるシンポジウム」参加申込書

※締切り6月24日(金) FAX 028-623-2182
メール kanekom03@pref.tochigi.lg.jp

<p>〔宛先〕</p> <p>栃木県県民生活部 くらし安全安心課 生活・交通安全担当</p> <p>金子 宛て</p>	<p>〔標題〕</p> <p>「性暴力について考えるシン ポジウム」の参加申込みにつ いて</p>	<p>発信日 平成28年 月 日</p> <p>発信者 所属： 氏名： 電話：</p>
---	---	---

参加申込者

所 属	職 名	氏 名	備 考